

平成28年度  
(第3四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比109.7%の実績となりました。これは、顆粒剤工場が完成し、徐々に製品がスタートした事が主要因となります。

収益面では、経常利益は前年同期比4億900万円改善致しました。これは、上述した顆粒剤工場の製品販売がスタートし、販管費のコントロールに取り組んでいる事が主要因となります。

(事業運営面)

大型投資を行った、顆粒剤工場が安定的に稼働するよう注力しております。同時に、既存受託品目の受注量が増加しており、品質と納期を守りながら事業を進めております。

利益を出すために、販管費のコストコントロールに取り組んでおります。

#### ○ 課題への取組み

・17年度黒字化に向け、全社を挙げて様々な施策に取り組んでおります。

#### ○ トピックス、適時情報

・第2回『元気とやま健康づくり企業』に広貫堂が表彰されました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第3四半期、平成28年4月～平成28年12月) (千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	8,596,369	9,007,734	9,206,448	10,099,880
経常利益	31,739	-163,110	-747,733	-338,555

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

呉羽顆粒剤工場が安定的な稼働となり、予定されていた品目の承認が取れ次第販売されております。既存受託品目も好調で、グループとして売上高を伸ばす事に成功しております。

利益面では、顆粒剤工場の減価償却費が響き経常損失にはなっているものの、顆粒剤工場の生産量がフル生産に近づいていくため、経常損失は解消される見通しになっております。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第3四半期、平成28年4月～平成28年12月) (千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	10,685,089	11,177,733	11,677,827	12,232,422
経常利益	178,082	-149,604	-829,958	-318,331

平成28年度  
(第3四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 薬都広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比101.4%の21億4,000万円で第3四半期を終えました。また、前期に引き続き、六神丸や熊胆円、100mLドリンク等の自社重点製品が好調に推移し、第2四半期より赤字幅も縮小しております。

(事業運営面)

配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進し、また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績回復につなげてまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

・発売以来、ご好評をいただいております葛根湯内服液「廣貫堂」ですが、お客様が開栓しやすいように、瓶の仕様を首長細口瓶から広口瓶に変更して販売を開始しております。

・「リゾチーム塩酸塩」再評価結果にともない、「リゾチーム塩酸塩」を配合した製品については、「リゾチーム塩酸塩」のみを除いた処方へ順次切り替えを行います。

#### ○ 業績の概況 (第3四半期、平成28年4月～平成28年12月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	2,379,516	2,160,283	2,110,208	2,140,587
経常利益	93,809	-4,586	-6,950	-26,189

### 日本薬剤 株式会社

#### ○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は新製品の寄与はあったものの既存製品が振るわず、前年同期比97.3%の42億4,500万円となりました。

経常利益は経費削減に努めた結果、前年同期比104.5%の4,600万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めていきます。

#### ○ トピックス、適時情報

新発売(4～12月)

・医薬品：胃腸薬 1アイテム、葛根湯内服液 2アイテム、滋養強壮内服液 2アイテム、点眼薬 1アイテム

・医薬部外品：100mLドリンク 1アイテム

・食品：水素水 パウチ飲料 1アイテム、経口補水液ゼリー パウチ飲料 1アイテム、500mL機能性表示食品 1アイテム

#### ○ 業績の概況 (第3四半期、平成28年4月～平成28年12月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	3,822,744	3,739,808	4,361,423	4,244,653
経常利益	77,791	26,261	44,100	46,095

平成28年度  
(第3四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 広貫堂薬品販売 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

12月末までを11億5,600万円で終了し、前年同期12億4,200万円(閉鎖4営業所込みより8,600万円の減収となりました。利益面では営業員不足が主たる要因となり、△600万円となりました。前年同期△9,500万円からは増益となりましたが、人員確保に課題を残しました。

(事業運営面)

第3四半期の課題としてあげていた①営業人員の確保については、長期化する傾向があり現状ネット媒体などを用いて効率化をはかっています。②小口販売、キャンペーン商品に関しては数品を指定し取り組み結果としてそれらの商品は売上が伸びたものの、全体としては売上上昇に寄与しておらず、顧客先での売り上げ構成の見直しを現場レベルで行うとともに、商品選定の精度をより確かなものにすることが課題として残りました。

#### ○ トピックス、適時情報

・通年としての六神丸、熊胆圓の取り組みとともに、季節商品である葛根湯の液剤/顆粒剤の配置、温乃湯(入浴剤)の配置に取り組みました。また第4四半期販売のサプリメントの前哨戦として黒ゴマセサミンをキャンペーン対象商品として顧客への還元と面の拡大を行いました。また他社とのコラボ企画による新規顧客の獲得に関し約400軒の顧客を拡張できました。

#### ○ 業績の概況 (第3四半期、平成28年4月～平成28年12月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	1,494,250	1,308,843	1,241,787	1,155,960
経常利益	-81,099	-134,981	-95,074	-5,920

### トキワ広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比99.8%予算計画比96.6%となりました。経費面につきましては、前年同期比107.7%と増加傾向にあります。経常利益は、398万に対して△719万となりました。

(事業運営面)

10月、11月の2か月間「補酵素の力」強化キャンペーンを実施し、12月の提案商品として「グルコサミンゼリー」の販売を強化致しました。

#### ○ トピックス、適時情報

- 平成28年10月21日よりトキワ広貫堂第4回取締役会が開催されました。
- 平成28年10月上旬期決算を終えて総括会議を行いました。

#### ○ 業績の概況 (第3四半期、平成28年4月～平成28年12月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	164,629	166,305	163,133	162,807
経常利益	-18,593	-18,376	-4,367	-6,696